



高校生に海外で学ぶ機会 専門アドバイザーが支援 観光施策づくりにデータ利活用 効果の最大化を

—加治木府議の9月定例会の質疑・質問より

加治木一彦府議は10月6日、府議会府民文化常任委員会で質疑、質問しました。主な項目は以下の通りです。

① 高校生等海外体験支援事業

大阪の高校生を対象に2026年の夏休みなど長期休暇に海外でスポーツや芸術など幅広い分野での学びの機会を提供し、生徒一人ひとりが自らの関心に応じて挑戦できる内容です。現地には単独で渡航しますが、専門アドバイザーが渡航計画づくりや生活面の準備を丁寧にサポートしてくれます。

② 観光施策立案でのデータの利活用

府は大阪観光局と連携し、携帯電話の位置情報を活用した「モバイル空間統計」やクレジットカードの観光消費額など観光に関するデータを一括で入手、分析結果をわかりやすくまとめて表示できるようにします。来阪観光客の国籍や年齢など属性ごとの行動が市町村別にわかるため、観光施策の効果の最大化を目指していきます。

③ デジタル人材 シェアリング事業

府内市町村の行政のデジタル化を進めるべく、府が専門人材を派遣するなど8分野で支援しています。参加した市町村からは「府の財政支援のおかげで費用を上回る支援効果があった」など満足度は高いものとなっています。市町村間の格差をなくす施策を進めるよう求めました。



▲ 府民文化常任委員会で質問する加治木府議

この日の様子は府議会ホームページの動画配信でご覧いただけます。→

大阪府議会ホームページ

▶ http://www.pref.osaka.lg.jp/gikai_giji/toppage/index.html



活動日誌より

8月 箕面市

17

大阪大学箕面キャンパスで開かれた政策提言シンポジウムに登壇「OSAKA多文化共生フォーラム」の歩みを紹介しました。中学時代に参加し不安を和らげてもらった外国にルーツのある生徒が高校生となり、後輩へ自身の体験を語り継いでくれています。2018年の私の府議会質問から始まった取り組みが、先輩から後輩へと続く支援の循環を生み出しています。



▲ 政策提言シンポジウムで登壇

9月 札幌市

17

北海道大学の「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」は妊娠前からの健康理解やライフデザイン支援を掲げます。その一環として岩見沢市で子ども向けワークショップや大学生向けの講座を開いています。「スマート農業教育研究センター」は次世代農業の担い手となる人材の育成と社会啓発を進めています。遠隔操縦のトラクターも実演してもらいました。



▲ 遠隔操縦で自走するトラクター

9月 堺市

5

府立成美高校で大阪府議会の出前授業をしました。約70人の外国にルーツのある生徒に府政の概要や多文化共生施策を説明した後、外国人向けの生活支援や学校の安全対策など多様な質問に答えました。



▲ 成美高校で出前授業

9月 豊中市

23

(公社)ギャンブル依存症問題を考える会主催の国際カンファレンス「過熱するギャンブル業界—日英の自死遺族が見てきたもの」に出席しました。子どもが自死を選んだ英国人夫妻の講演や日本の現状報告などがありました。ワンストップで対応できる依存症センターを府が一日も早く設立するべく後押ししていきます。



▲ 国際カンファレンスに出席



「大阪府議会議員 かじき一彦」

Facebookページにて、議員活動の情報発信をしております。当該ページに「いいね!」を押していただき、ぜひご覧ください。



X (旧Twitter)
加治木一彦



Instagram
かじき一彦